科目名 Subject	グローバルエステティック研究 Global Esthetics Research		教員名	エステチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	120
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	◎
科目の概要	より高度なフェイシャル、ネイル、メイク、ボディ、ｗａｘ脱毛の実技、理論を身に付ける。また、高齢者を含む様々な年齢、肌質、体質のモデルにあわせたトリートメントプランを完成させ、アフターアドバイスも含めて実行する。 CIDESCO　1次　筆記試験、2次　実技試験の合格を目標とする。				
授業の目標	本科目を履修することにより、プロのエステティシャンとしての知識、技術力、カウンセリング力を養える。				
時間外学習 （予習・復習）	授業で学んだことをモデルを使いながら復習し、次の授業の内容を実技教科書で予習する。実技授業のほか、栄養学・解剖生理学・皮膚科学・香粧品学・運動生理学など常に復習し理解しておくこと。なお、各回の復習には概ね６０分～９０分程度行い、次回の授業の際に技術が戻らないように定着させておくこと。				
教科書・教材	教科書	日本エステティック協会テキスト、講師作成テキスト			
	教材	ボディ用教材・フェイシャル用教材			
	使用設備・備品	全身美容実習室・フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	平常点20%（小テスト、身だしなみチェック等含む）、レポート作成30% 試験50%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	1学年次の成績、出席状況等総合的に判断したうえで履修者を決定します。				
本科目履修と関連する資格	資格名	日本エステティック業協会,日本エステティック協会　　認定上級エステティシャン　　CIDESCO-NIPPON　Beauty Therapy Diploma			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	研究レポート作成について	研究レポート作成の注意すべき点を理解し、的確なケースヒストリー作成ができるようになる。	様々なケースヒストリーに答えられるよう理論編Ｉの皮膚科学、解剖生理学をノートにまとめ復習する
第２回	研究レポート作成について	研究レポート作成の注意すべき点を理解し、的確なケースヒストリー作成ができるようになる。	様々なケースヒストリーに答えられるよう理論編Ｉの皮膚科学、解剖生理学をノートにまとめ復習する
第３回	ケースヒストリー対策	高齢者を含む年齢や職業のケースに合わせ、目的に合致する施術を選択できる	高齢者への施術についてジェロントロジー、理論編Ｉ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を中心に復習する。
第４回	ケースヒストリー対策	高齢者を含む年齢や職業のケースに合わせ、目的に合致する施術を選択できる	高齢者への施術についてジェロントロジー、理論編Ｉ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を中心に復習する。
第５回	エステティック国際資格概論	エステティックの日本国内外の資格について理解できる	理論編Ⅲエステティック概論の各国の資格をノートにまとめる。
第６回	ボディ実技機器理論	国内資格と国際資格で必要なボディ機器の効果利点禁忌事項等を理解できる	電気機器の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第７回	ボディ実技機器練習	国内資格と国際資格で必要なボディ機器の正しい操作を理解できるようになる	電気機器の効果・注意点・禁忌事項をノートにまとめ不得意なところを復習する。
第８回	ボディ実技機器練習	国内資格と国際資格で必要なボディ機器の正しい操作を理解できるようになる	電気機器の効果・注意点・禁忌事項をノートにまとめ不得意なところを復習する。
第９回	ボディプレトリートメントの種類と特徴	プレヒートトリートメントがどういう種類があるか等理解できる	配布プリントを読んで不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第１０回	ボディプレトリートメントの種類と特徴、効果	プレヒートトリートメントの効果を理解し正しく選択できるようになる	現在まで行ったことのあるプレヒートトリートメントについてノートにまとめる。
第１１回	体型診断について	骨格と姿勢について学びそれぞれの特徴を理解できるようになる	骨格・姿勢をについて理論編Ｉの骨格系・筋系、配布プリントを読んでノートにまとめる。
第１２回	体型診断とボディ施術	骨格と姿勢についての繋がりを理解し正しいボディ施術を選択できる	骨格・姿勢について授業で理解できなかった部分について復習する。
第１３回	ワックス実技理論	ウォームワックスとホットワックスの違いを知り、説明できる	ウォームワックス
第１４回	ホットワックス実技	ホットワックスの準備からアフターケアまで手順を理解できる	技術編Ｉのワックス脱毛の注意点、禁忌、アフターケアを読み、配布資料を基にホットとウォームの違いをまとめる。
第１５回	ホットワックス実技	ホットワックスの準備からアフターケアまでスムーズに時間内で行うことが出来る	前回できなかった箇所について確認し、改善策をまとめる。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	フェイシャル実技機器理論	国内資格と国際資格で必要なフェイシャル機器の効果利点禁忌事項等を理解する	電気機器の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第１７回	フェイシャル実技機器練習	国内資格と国際資格で必要なフェイシャル機器の正しい操作を理解する	電気機器の効果・注意点・禁忌事項をノートにまとめ不得意なところを復習する。
第１８回	フェイシャル実技機器練習	国内資格と国際資格で必要なフェイシャル機器の正しい操作を理解する	電気機器の正しい使用を時間内で出来るよう反復練習する。
第１９回	フェイシャル低周波の特徴	様々なEMSの種類と仕組みを理解する	低周波の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第２０回	フェイシャル低周波実技	EMSを正しく動作しスムーズに動作させることができる	顔の筋肉の場所を配布プリントで復習する。
第２１回	フェイシャル低周波実技	EMSを効果的にスムーズに動作させることができる	前回できなかった箇所について確認し、改善策をノートにまとめ時間内に技術を行えるよう反復練習する。
第２２回	フェイシャル診断について	肌状態について学びそれぞれの特徴を理解する	教科書の皮膚科学の箇所を復習しておく
第２３回	フェイシャル診断と施術	肌状態について学びそれぞれの特徴を理解し正しいコースを施術できる	理論編Ｉの皮膚科学と配布資料を読んでシデスコの肌診断との違いをノートにまとめる
第２４回	フェイシャル診断のための機器理論	肌状態とその原因を追究する機器について理解し正しい判断を行える	理論編Ｉの皮膚科学と配布資料を読んでそれぞれの目的にあった機器をノートにまとめる。
第２５回	フェイシャル診断のための機器理論とカウンセリング	肌診断機器について理解し正しいカウンセリングを実施する	理論編Ｉの皮膚科学と配布資料を読んでそれぞれの目的にあった機器とその効果と禁忌、注意点をノートにまとめる。
第２６回	フェイシャル圧出方法	コメドの圧出方法を学び肌負担のないやり方を理解する	事前資料による予習。できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。
第２７回	まつげのティンティング理論	日本におけるまつげ染めの職業上の禁忌と理論を学ぶ。	事前資料による予習。できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。
第２８回	まつげのティンティング理論と実技	染料を用いることなく正しい手順を学び理解する	できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で反復復習する。
第２９回	まつげのティンティング実技	染料を用いることなく正しい手順を学び時間内にスムーズに施術する	できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で反復復習する。
第３０回	まつげのティンティングと眉毛の整え方	時間内にスムーズに施術すし、眉毛を整えることもできる。	事前資料による予習。できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第３１回	フェイシャル復習１	外部モデル対するお通しから施術終了までの時間配分を理解する	お通しから最後まで流れを確認しノートにまとめる。モデルへの事前連絡を行う
第３２回	フェイシャル復習２	外部モデルにカウンセリングを行い正しい組み立てを行い、機器を選択できる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第３３回	ビューティーセラピー理論（自然科学）	元素、化合物および混合物について理解する	事前資料による予習。できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。
第３４回	フェイシャル復習３	外部モデルへの施術内容および注意点等を第３者に説明しスムーズに行うことができる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第３５回	フェイシャル復習４	外部モデルに対して時間内にお通しからアフターケアアドバイスまで行うことができる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第３６回	ビューティーセラピー理論（自然科学）	電気が体に与える影響を学び正しく理解し、記述できる	事前資料による予習。不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第３７回	ボディ復習１	外部モデル対するお通しから施術終了までの時間配分を理解する	お通しから最後まで流れを確認しノートにまとめる。モデルへの事前連絡を行う
第３８回	ボディ復習２	外部モデルにカウンセリングを行い正しい組み立てを行い、機器を選択できる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第３９回	ビューティーセラピー理論（生理解剖学）	細胞と組織について学び、設問に対し正しい記述ができる	事前資料による予習。不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第４０回	ボディ復習３	外部モデルへの施術内容および注意点等を第３者に説明しスムーズに行うことができる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第４１回	ボディ復習４	外部モデルに対して時間内にお通しからアフターケアアドバイスまで行うことができる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第４２回	ビューティーセラピー理論（生理解剖学）	代謝について学び設問に対し正しい記述ができる	事前資料による予習。できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。
第４３回	フェイシャル復習５	外部モデル施術における口頭試問へ正確に答えられる	前回できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。
第４４回	フェイシャル復習６	外部モデル施術における口頭試問へ正確に答えられ時間内に施術が終われる	前回できなかった箇所について確認し、改善策を考えて終了後講義内容を自宅で復習。
第４５回	ビューティーセラピー理論（生理解剖学）	筋肉について学び設問に対し正しい記述ができる	事前資料による予習。不明な点を授業で確認できる準備を行う。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第４６回	ボディ復習５	外部モデル施術における口頭試問へ正確に答えられる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第４７回	ボディ復習６	外部モデル施術における口頭試問へ正確に答えられ時間内に施術が終われる	前回できなかった箇所について確認し、施術内容をレポートにまとめ終了後講義内容を自宅で復習。
第４８回	ビューティーセラピー理論（皮膚・皮膚科学）	皮膚の構造、役割を理解し、設問に正確に答えられる	事前資料による予習。不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第４９回	ビューティーセラピー理論（衛生と救急法）	公衆衛生の歴史を理解する	事前資料による予習。不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第５０回	ビューティーセラピー理論（衛生と救急法）	微生物学・細菌学・消毒法を正しく理解し設問に正確に答えられる	事前資料による予習。不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第５１回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習１	外部モデルに対して規定時間内に正確に実技を行えるようにする。	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５２回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習２	外部モデルに対して規定時間内に正確に実技を行えるようにする。	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５３回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習３	外部モデルに対して規定時間内に正確に実技を行えるようにする。	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５４回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習４	外部モデルに対して規定時間内に正確に実技を行えるようにする。	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５５回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習５	外部モデルに対してホスピタリティを忘れず規定時間内に正確に実技を行える	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で基準点以上に出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５６回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習６	外部モデルに対してホスピタリティを忘れず規定時間内に正確に実技を行える	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で基準点以上に出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５７回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習７	口頭試問に正確に答えられ規定時間内に実技を行えアフターケアも伝達できる	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で基準点以上に出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５８回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習８	口頭試問に正確に答えられ規定時間内に実技を行えアフターケアも伝達できる	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で基準点以上に出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第５９回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習９	正確に状況を把握し、口頭試問に正確にこたえられ、時間内に終了できる	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で基準点以上に出来なかったものをノートに記入し、復習する。
第６０回	実技試験（ボディ、フェイシャル実技・ネイル・メイク・wax）対策練習１０	正確に状況を把握し、口頭試問に正確にこたえられ、時間内に終了できる	誘導からカウンセリング、実技まで時間内で基準点以上に出来なかったものをノートに記入し、復習する。